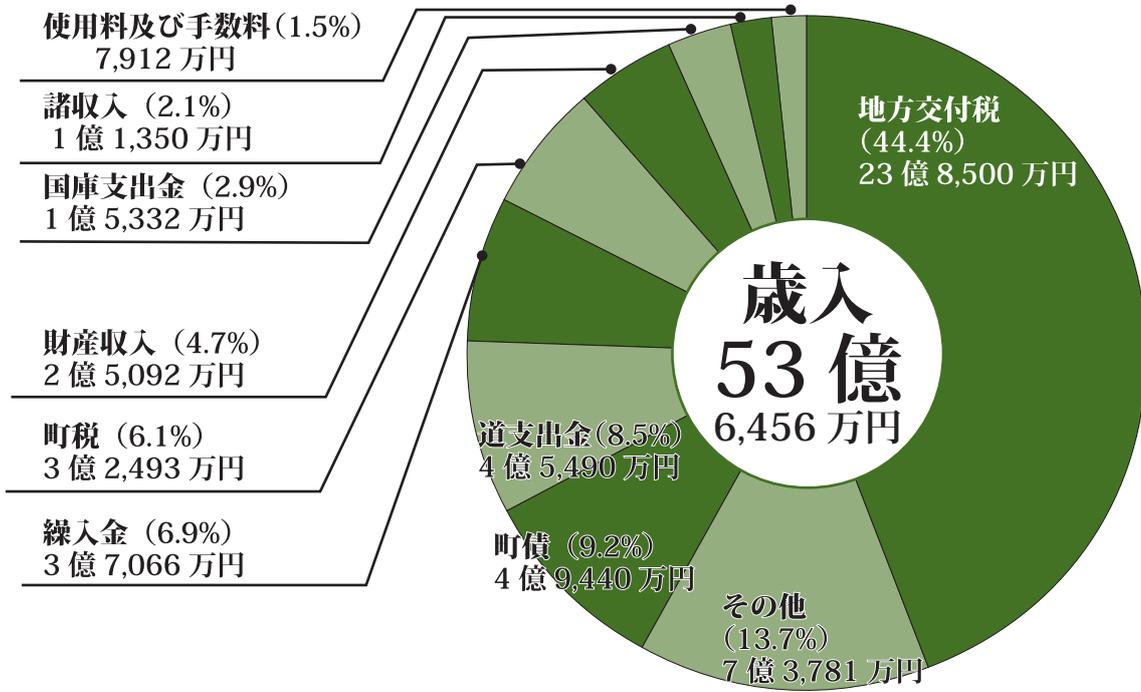


平成29年度 町の決算

まちの家計簿といえる平成29年度決算を公表します。
町民皆さんから納めていただいた税金や国、道からの補助金等がどのように使われているかをお知らせするものです。
年々、厳しくなる財政状況の中、節減に努め効率的な財政運営を行ない財源確保に最大の努力を図っていききたいと思ひますので、町の行政について、より一層のご理解とご協力をお願い致します。



一般会計

一般会計の決算額は、歳入が53億6,456万円、歳出が52億5,703万円で差し引き1億753万円の黒字決算となりました。

町民の皆さんが納めた町税は3億2,493万円で、1人当たり10万4,144円負担したことになります。これに対し、1人当りに使われた費用は168万4,946円で黒字決算とはいえ依然、自主財源に乏しくその大半を地方交付税や町債(町の借金)に頼る財源内容となっています。

◇備荒資金組合納付金とは：
災害による減収補てん・災害応急復旧事業費やその他災害に伴う費用にあてるために、道内の市町村が一部事務組合を設立し積立を行っているもので、使い道が災害関連等に限定される普通納付金と、使い道に制約の無い超過納付金に分けられています。

町税の負担状況 (人口3,120人 (30年3月末))

税区分	決算額	構成比	町民一人当たり
町民税	1億6,039万円	49.4%	51,407円
固定資産税	1億2,681万円	39.0%	40,644円
軽自動車税	965万円	3.0%	3,093円
たばこ税	1,869万円	5.7%	5,990円
入湯税	939万円	2.9%	3,010円
合計	3億2,493万円	100%	104,144円

借入金の状況 (一般会計分)

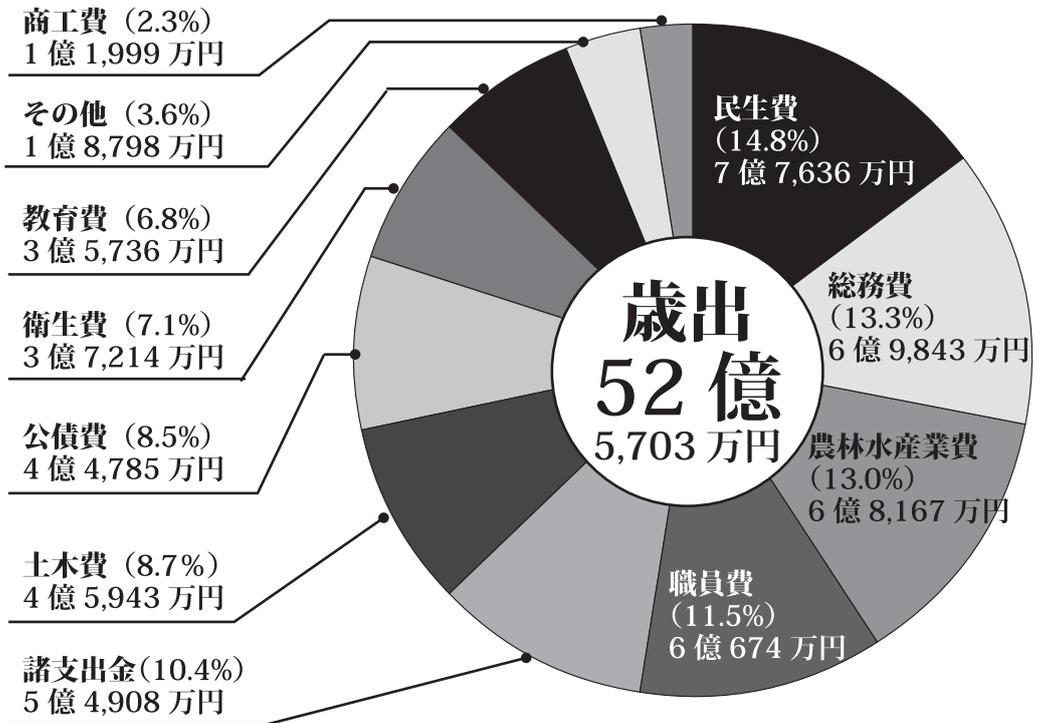
区分	平成29年度末現在高
農林水産	1,494万円
土木	844万円
公営住宅	3億7,397万円
公共事業等	7,168万円
過疎対策事業	18億4,162万円
一般会計出資債	468万円
緊急防災・減災事業債	1億5,921万円
臨時財政対策債	3億8,910万円
その他	1億87万円
合計	29億6,451万円

町有財産の状況 (平成29年度 決算現在高)

土地	5,404,275 m ²	車輜	78台
建物	107,663 m ²	絵画	2点
山林	3,554,824 m ²	有価証券	508万円
		出資金等	3,522万円
基金 (一般会計分)	32億3,046万円		
	財政調整基金	3億4,676万円	
	減債基金	6億6,274万円	
	特定目的基金	22億1,589万円	
	定額運用基金	507万円	
備荒資金組合納付金	5億2,217万円		

用語の解説

- 総務費…町の内部管理・税務・戸籍・選挙・統計などに要する経費です。
- 民生費…福祉事業、認定こども園運営費などの経費です。
- 衛生費…健康づくり、ごみ、し尿処理などに要する経費です。
- 農林水産業費…農林業の振興などに要する経費です。
- 商工費…商工業・観光の振興などに要する経費です。
- 土木費…道路整備・維持、町営住宅管理などに要する経費です。
- 教育費…小中学校、社会教育、保健体育などに要する経費です。
- 公債費…町の借入金の返済に要する経費です。
- 諸支出金…基金の積立金などに要する経費です。
- 職員費…職員に対して支給される給料と各種手当などに要する経費です。
- その他…議会費、消防費などの経費です。



地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉の増進を目的として経営する企業です。

※特別会計と公営企業会計は、税・使用料・負担金・国道支出金のほか、一般会計からの繰入金等で運営がなされる、効率的運用に努めています。

公営企業会計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

特別会計

特別会計		
会計名	歳入	歳出
養護老人ホーム	2億 8,811万円	2億 7,336万円
特別養護老人ホーム	3億 2,528万円	3億 1,787万円
高齢者グループホーム	3,875万円	3,325万円
介護保険	3億 5,947万円	3億 3,007万円
国民健康保険	5億 9,176万円	5億 2,317万円
後期高齢者医療	5,761万円	5,748万円
公共下水道	1億 9,042万円	1億 8,575万円
合計	18億 5,140万円	17億 2,095万円

公営企業会計			
会計名	区分	決算額	
水道事業会計	収益的	収入	1億 5,132万円
		支出	1億 4,709万円
	資本的	収入	71万円
		支出	2,161万円

収支状況

平成30年度の上半期（4月～9月）の収支状況をお知らせします。限られた財源のなかで健全財政を堅持しつつ町民生活の向上を重点に、行財政の効率的な運営に努めています。この公表を通じ、町の財政がどのような状況にあるかをご覧いただき、住みよいまちづくりこれからも一層のご理解とご協力をお願いします。

歳入 執行率 44.9% 歳出 執行率 29.9%

予算額：48億4,915万円
収入済額：21億7,760万円

予算額：48億4,915万円
支出済額：14億4,975万円

3億1,895万円 1億6,359万円 (51.3%)	町税	総務費	7億2,348万円 1億9,388万円 (26.8%)
19億8,447万円 14億5,272万円 (73.2%)	地方交付税	民生費	7億5,794万円 2億1,148万円 (27.9%)
8,254万円 4,094万円 (49.6%)	使用料及び手数料	衛生費	2億9,908万円 6,898万円 (23.1%)
2億59万円 5,735万円 (28.6%)	国庫支出金	農林水産業費	6億5,641万円 1億4,641万円 (22.3%)
3億7,499万円 1億891万円 (29.0%)	道支出金	商工費	8,394万円 7,037万円 (83.8%)
2億2,011万円 5,606万円 (25.5%)	財産収入	土木費	5億7,384万円 1億6,957万円 (29.6%)
6億5,669万円 — (0.0%)	繰入金	教育費	1億8,723万円 7,862万円 (42.0%)
1億2,476万円 1,411万円 (11.3%)	諸収入	公債費	3億558万円 1億687万円 (35.0%)
2億4,130万円 — (0.0%)	町債	諸支出金	3億2,121万円 129万円 (0.4%)
6億4,475万円 2億8,392万円 (44.0%)	その他	職員費	6億3,232万円 2億9,879万円 (47.3%)
		その他	3億812万円 1億349万円 (33.6%)

※上段が予算額、下段が収入・支出済額で（ ）は執行率です。

町税の収入状況

税区分	予算額	調定額	収入済額	収入歩合
町民税	1億4,693万円	1億7,720万円	6,309万円	35.6%
固定資産税	1億3,516万円	1億3,970万円	7,863万円	56.3%
軽自動車税	999万円	1,002万円	990万円	98.8%
たばこ税	1,728万円	915万円	748万円	81.7%
入湯税	960万円	449万円	449万円	100%
合計	3億1,896万円	3億4,056万円	1億6,359万円	48.0%

特別会計

会計名	予算額	収入済額	支出済額
養護老人ホーム	2億7,940万円	1億3,601万円	1億886万円
特別養護老人ホーム	3億5,994万円	1億967万円	1億4,810万円
高齢者グループホーム	4,394万円	1,874万円	1,523万円
介護保険	3億9,464万円	1億7,022万円	1億3,439万円
国民健康保険	5億6,663万円	2億3,331万円	1億8,711万円
後期高齢者医療	6,374万円	1,553万円	1,690万円
公共下水道	2億741万円	9,296万円	7,436万円
合計	19億1,570万円	7億7,644万円	6億8,495万円

公営企業会計

会計名	区分	予算額	執行額
水道事業会計	収益的	収入	1億3,539万円 / 3,566万円
		支出	1億5,203万円 / 4,654万円
	資本的	収入	- / -
		支出	2,013万円 / 667万円

町債の借入予定

事業名	借入予定額
過疎対策事業債	1億4,870万円
沼田厚生クリニック医師住宅整備事業	2,560万円
ロータリ除雪車購入事業	860万円
高穂幹線高穂2号橋補修事業	920万円
町道北竜幹線恵北橋補修事業	410万円
町道高台幹線舗装補修事業	2,700万円
融雪溝ポンプ井戸新設事業	2,550万円
消防ポンプ車購入事業	4,870万円
臨時財政対策債	9,260万円
合計	2億4,130万円

沼田町の財政状況を

家計に例えたら・・・

沼田町の財政を家計に例えた場合、年収約262万円（税収・税外収入）と親からの仕送り約198万円（地方交付税）を合算した約460万円が年額収入となり、このうち約30万円は借金の返済（公債費）に充てなければならず、実際に可処分所得として使えるのは約430万円となります。一方、この家計は、家計費（一般歳出）として年間約454万円を必要としており、収入でまかないきれない約24万円は、借金（公債金収入）として調達しなければなりません。その結果、平成30年度末には、ローン残高（公債残高）は292万円、貯金残高（基金残高）は約289万円となっています。

平成30年度財政状況【一般会計】

○税収+税外収入	26億2,338万円
○地方交付税	19億8,447万円
公債費(A)	3億558万円
○税収等+地方交付税-(A)	43億227万円
○一般歳出	45億4,357万円
町債収入	2億4,130万円
例：沼田厚生クリニック医師住宅整備事業	
※毎年必要なお金ではなく、臨時的に必要な多額の事業費の財源とするのが町債です。	
○町債残高予定(H30年度末)	29億1,814万円
○基金残高予定(H30年度末)	28億9,257万円

家計に例えた場合

○1世帯年収	262万3,380円
○親からの仕送り	198万4,470円
ローン元利払(B)	30万5,580円
○可処分所得【年収+仕送り-(B)】	430万2,270円
○家計費	454万3,570円
不足分=借金	24万1,300円
例：住宅の改修	
※住宅改修等の必要な経費の不足分（可処分所得の不足分）を補うのが借金です。	
○ローン残高予定	291万8,140円
○貯金残高予定	289万2,570円

気になる数値を、グラフで見よう！

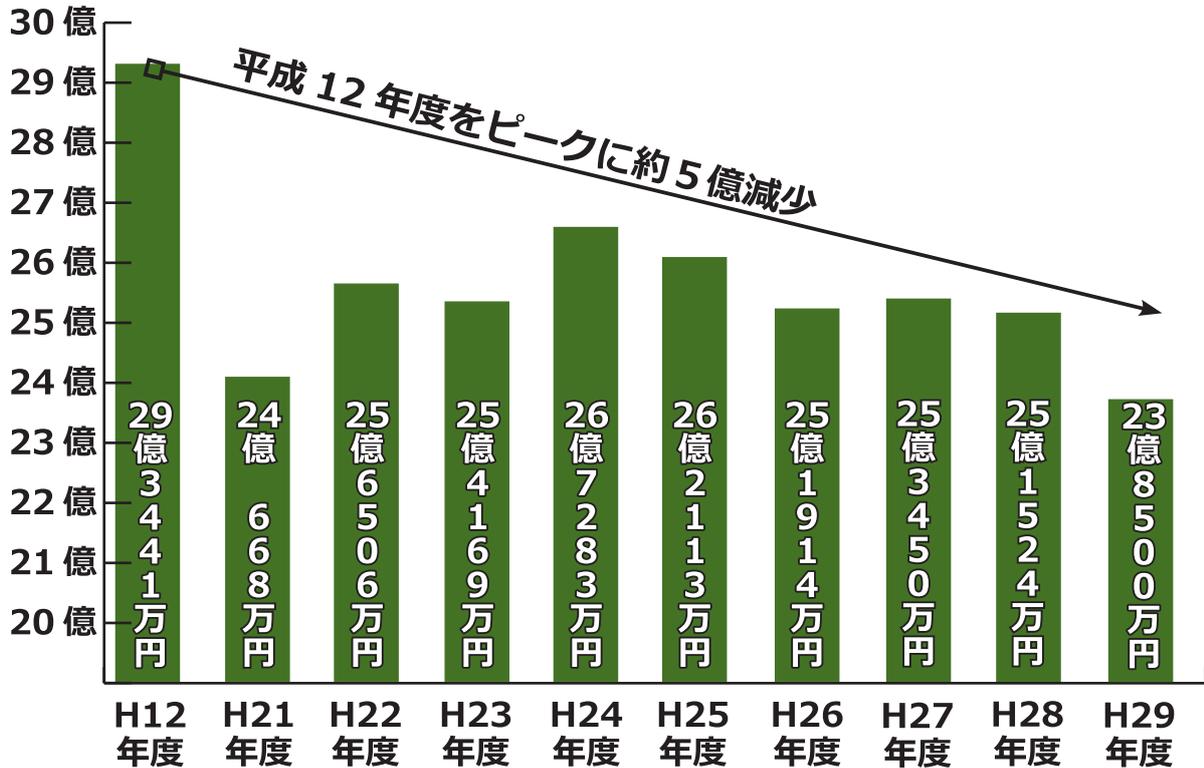
沼田町の財政推移（一般会計）

地方交付税

の推移

平成 29 年度の地方交付税額（普通交付税、特別交付税）は、23 億 8,500 万円较去年（25 億 1,524 万円）より 1 億 3,024 万円減少しました。

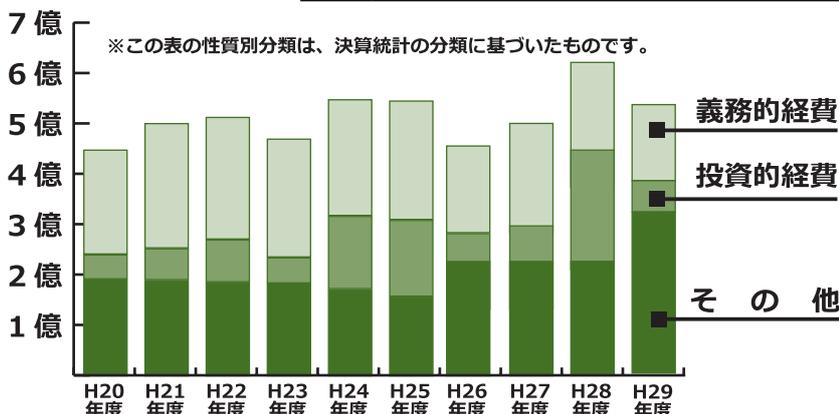
また、平成 12 年度が地方交付税額のピークの年（29 億 3,441 万円）であり、比較すると約 81.3%の水準となっております。



性質別経費

(歳出) の推移

義務的経費	法律で支払いが義務付けられているもの、収入が減っても簡単に減らせられないもの 人件費：職員給与や議員、委員の報酬など 扶助費：生活困窮者、児童、老人、障がい者等支援の経費 公債費：借入金の返済に要する経費
投資的経費	道路の基盤整備、公共施設の建設、災害復旧費に充てられるもの 公共施設の新増設等や、用地取得などの資産形成に資する事業に要する経費 災害の復旧に要した経費
その他	公共物の維持や補修などのその他経費

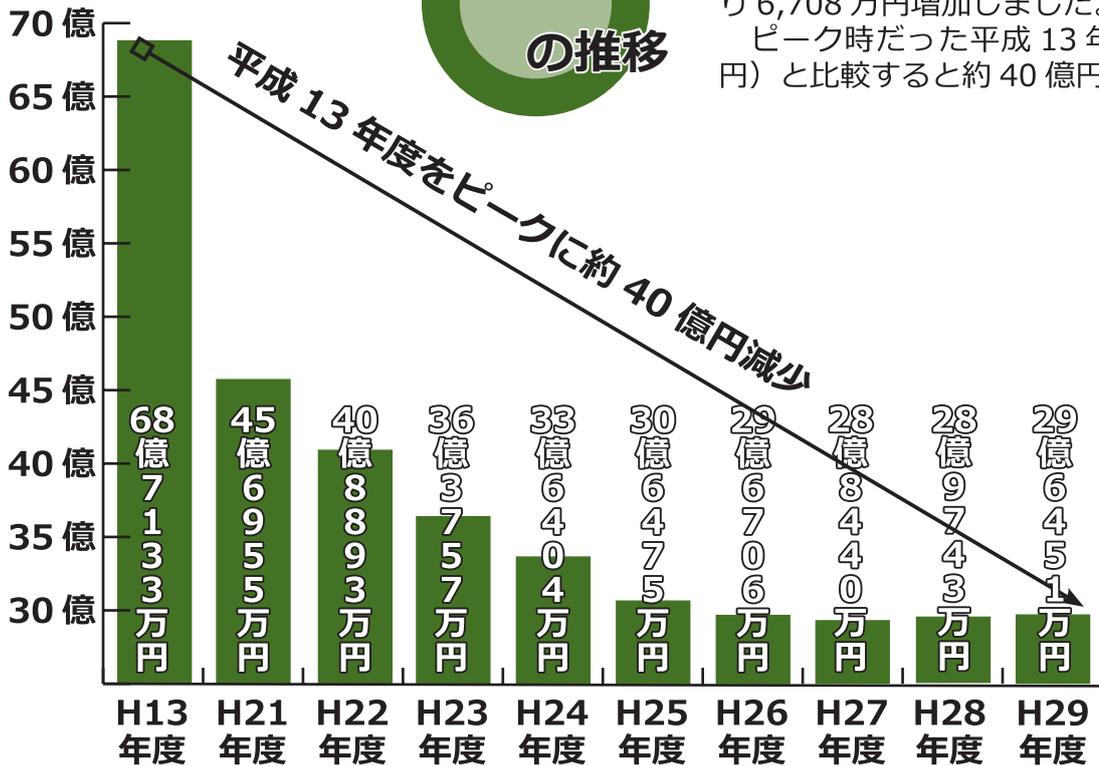


■ 義務的経費	15 億 3,746 万円
■ 投資的経費	6 億 9,705 万円
■ その他	32 億 146 万円
計	54 億 3,597 万円

まちの家計簿

町債(まちの借金)の推移

平成 29 年度末の町債（借金）残高は、29 億 6,451 万円で昨年（28 億 9,743 万円）より 6,708 万円増加しました。
ピーク時だった平成 13 年（68 億 7,133 万円）と比較すると約 40 億円減少しています。



基金(まちの貯金)の推移

財政調整基金とは、災害復旧、その他緊急を要し、又は必要やむを得ない財政需要に応ずる財源を積立てるための基金です。
減債基金とは、町債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる町財政の運営に資するための基金です。
平成 29 年度は、企業等誘致推進基金等の積立により、年度末基金現在高が増加しています。

年 度	財政調整基金	減 債 基 金	その他特定目的基金	年度末基金残高
平成 20 年度	3 億 1,598 万円	8 億 6,746 万円	11 億 723 万円	22 億 9,067 万円
平成 21 年度	3 億 1,632 万円	6 億 8,219 万円	13 億 5,413 万円	23 億 5,264 万円
平成 22 年度	3 億 9,642 万円	6 億 4,196 万円	15 億 8,794 万円	26 億 2,632 万円
平成 23 年度	3 億 3,478 万円	6 億 6,898 万円	18 億 2,420 万円	28 億 2,796 万円
平成 24 年度	3 億 3,513 万円	6 億 9,280 万円	16 億 1,196 万円	26 億 3,989 万円
平成 25 年度	3 億 7,597 万円	7 億 1,663 万円	16 億 5,616 万円	27 億 4,876 万円
平成 26 年度	4 億 8,600 万円	6 億 4,650 万円	17 億 2,390 万円	28 億 5,640 万円
平成 27 年度	4 億 1,648 万円	6 億 4,717 万円	21 億 6,542 万円	32 億 2,907 万円
平成 28 年度	3 億 6,660 万円	6 億 2,753 万円	20 億 6,076 万円	30 億 5,489 万円
平成 29 年度	3 億 4,676 万円	6 億 6,274 万円	22 億 2,096 万円	32 億 3,046 万円

